
アニヴァーサリー

yuki

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アニヴァーサリー

【コード】

N2299L

【作者名】

yuki

【あらすじ】

新一の誕生日！と興奮してはじめました。これから続けていききたいと思います！

01 新一の誕生日〜朝編〜（前書き）

短編にしようかと思ったんですが長引きそうなのでやめました。

01 新一の誕生日〜朝編〜

今日はずっとみんなで計画してきた新一の誕生日！博士の家で新一の誕生日パーティーをすることになっている。でも始まるのは夜7時。それまでにみんなで打ち合わせをしなければならぬ。だから今日は博士の家に朝9時に集合。さて！私もそろそろ行かなくっちゃ！

蘭・和葉「お父さん、（おっちゃん）出かけてくるね（わ）！」

小五郎「勝手に行つて来い。どうせあの探偵坊主がらみだろう。」

蘭・和葉「うん！いつてきまーす！」

〜阿笠邸〜

蘭「博士〜？」

平次「おう、もうねーちゃんこれたんか。」

和葉「平次早いね。」

平次「工藤にばれんようにくるんが大変やったわ。」

ポン！

平次「（ゴホゴホ）登場のたんびに煙幕はんのやめろや快斗！」

快斗「わりいわりい。」

蘭「おはよ、黒羽君。」

平次「中森のねーちゃんは？」

快斗「アホ子ならもうすぐくんじゃねーか？」

青子「アホ子で悪かったわね、バ快斗！」

哀「博士、そろそろそろつたんじゃない？」

博士「そのようじゃな。」

蘭「じゃあ、パーティーでのそれぞれの役目を振り返りましよう

！

平次「まず俺が工藤を19時に連れてくる。」

快斗「んで俺が新一を目隠しする。」

和葉「ほんでみんなで工藤くんを回すんやね！」

博士「それで新一をわしと服部君と黒羽君で哀君の研究室の隣の

部屋に連れて行けばいいんじゃない？」

青子「それで青子と蘭ちゃんと和葉ちゃんで作った料理をもって
いけばいいんだね」

蘭「そうよ！じゃあ飾りつけをはじめましょうー」

01 新一の誕生日〜朝編〜（後書き）

何とかこっちもやっていきたいとおもいます！

02 新一の誕生日〜昼編〜（前書き）

今日中に誕生日本番はむりかも知れません。

02 新一の誕生日〜昼編〜

蘭「あ、博士、それもうちよつと右!」

青子「快斗、もつと左!」

和葉「平次、そこちゃう!」

哀「全体的に偏ってるわ!」

蘭「できた!!」

フサエ「みんな、お昼できたわよ!」

全「はい!」

・食べ終わって…」

蘭「プレゼントどうした?」

和葉「うちはお守り!」

青子「青子はよくわかんなかったからキーホルダーにしたよ!サ

ツカーボールのついたやつ!」

平次「俺はあいつの好きなホームズの初版本や!」

快斗「俺はマジックで出そうとおもってから今はいえねーな。」

博士「わしは新一にノートパソコンを作ってたぞ!」

蘭「哀ちゃんは?」

哀「…私はマスコット。」

青子「蘭ちゃんは?」

蘭「私は…あとでレモンパイをって思っ…。」

全「へー!」

02 新一の誕生日〜昼編〜（後書き）

がんばらなくちゃ…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2299/>

アニヴァーサリー

2010年10月28日05時51分発行